

第二項 褒賞ノ實施

第一目 檢定作業(作業檢定)ニ對スル褒賞ノ實施

明治四十一年檢定發射ノ制度創始以來既記褒賞令ニ依リ毎教育年度ニ於テ其ノ褒賞スベキ優勝成績ノ標準及其ノ賞額ヲ定メタリ初年度即チ明治四十一年度ノモノヲ示セバ左ノ如シ(同年内令第二百四號)

一、優等成績標準

軍艦ニ在リテハ得點百分比

八〇

驅逐艦ニ在リテハ 同

九五

水雷艇ニ在リテハ 同

九〇

二、賞 額

發射機員別	賞 額		備 考
	甲	乙	
照 準 手	十五圓	十圓	軍艦ニ在リテハ得點百分比九〇以上、 驅逐艦ニ在リテハ一〇〇、水雷艇ニア リテ九八以上ヲ得タルモノニハ甲額ヲ 給シ其ノ他ニハ乙額ヲ給スルモノトス
一 番	五圓	三圓	
二 番 以 下	三圓	二圓	
空 氣 壓 搾 機 員	五圓	三圓	

爾後檢定發射規程ノ進歩竝ニ艦内編制規程ノ改正等ニ伴ヒ受賞發射機員竝ニ關係員ニ變遷アリ又賞與
ニモ異動アリシガ大正四年ニ至リ檢定發射褒賞配當表ナルモノヲ定メ各艦隊鎮守府等所屬別ニ賞區分
ヲ配當スルニ至レリ同年ニ於ケル成績決定標準(四十一年ヨリ大正四年ニ至ル比較ヲモ含ム)及賞與全
額表ハ(別紙)甲、乙ニ見ルガ如シ

然ルニ右ニ記述ノ如ク從來檢定作業ニ對スル賞與ハ金員ヲ以テセラレツツアリシガ金員ハ動々モスレ
バ浪費消失ニ傾キ賞與トシテノ價值ニ就キ考究ヲ要スルモノアリシガ金員ニ代フルニ物品ヲ以テスル
ノ適當ナルヲ認メ大正五年褒賞令及同實施規則ノ一部ヲ改正シ物品ヲ授與スルコトトシ不取敢大正五



年ニ於テハ第一種乃至第五種賞品トシテ大小五種ノ銀盃ヲ夫々授與スルコトトシ大正八年ニ及ビシガ物價騰貴ニ依ル豫算關係竝ニ連年殆ド類似ノ銀盃ヲ受領スル者トシテハ感激性ヲ減少シ惹ヒテ諸種ノ弊害ヲ醸成スベキヲ慮リ賞與トシテ更ニ適當ノ考案ヲ得ル迄ハ大正九年ヨリ差當リ再ビ金員賞賜制ニ復歸セリ大正十二年ニ至リ更ニ實施部隊側ノ意見ヲモ參照シ審議ノ結果左記方針ニ決定スルニ至レリ
海軍戰技褒賞令施行規則ニ據ル賞品ハ記念品制ニ依ルヲ例トシ其ノ品種ハ年々之ヲ定ム
但シ時宜ニ依リ記念品ノ全部若クハ一部ヲ金錢ヲ以テ換ユルコトアルベシ

而シテ其ノ金錢ヲ以テ記念品ニ代フルハ概ネ豫算上ノ關係ニヨリ止ムヲ得ザル場合ニ處スル方便ニシテ差當リ十五年度ハ參謀長會議諮問事項ニ對スル答申ニ現ハレタル受賞者側ノ要望ヲ考案シ先以テ全部記念品制ヲ採リ銀盃ヲ授與セリ

左記ハ諸他ノ個人戰技(檢定)ト共ニ褒賞ノ變遷ヲ示スモノナリ

海軍戰技(個人檢定)褒賞ニ關スル變遷一覽表

年次	檢定別	賞品種別	賞額(賞品等級)	記事
自明治三十二年 至四十一年	射擊	金錢	射手 八圓乃至二十圓 砲手 射手ノ十分ノ一	艦砲懸賞射擊規則制定
明治四十年	射擊	同	同	施行細則制定

昭和二年	自十三年至十五年	十二年	自十九一年	八年	七年	六年	五年	自四二	自四十三至大正元年	自四十二一年
砲員、照射、測距、發射、機關、通信、飛行、機々上作業、同整備、機關員	砲員、發射、機關、通信、測距、照射、敷設、掃海、	同	同	射擊、發射、機關、通信、測距、敷設、掃海、	射擊、發射、機關、通信、測距、敷設、	同	同	射擊、發射、機關、通信、測距、	射擊、發射、機關、通信	射擊、發射
銀洋盃	同	銀盃	金錢	同	同	同	銀盃	同	同	同
同右	第一種乃至第三種以下同右	第一種乃至第四種配置ニ應ジ等級ヲ定ム	十圓乃至五圓	同	同	第一乃至第四種トシ同右	第一乃至第五種トシ配置ニ應ジ等級ヲ定ム	十八圓乃至一圓二十五錢	二十圓乃至一圓	二十圓乃至七十五錢
飛行機關係ヲ加フ	十三年射擊檢定ヲ砲員檢定ト改稱シ尙褒賞令中照射檢定ヲ加フ			褒賞令中掃海檢定ヲ加フ 內容ニ就テハ(別紙)丙參照	褒賞令中敷設檢定ヲ加フ 內容ニ就テハ(別紙)丙參照			褒賞令中測距檢定ヲ加フ	機關通信關係褒賞令制定 明治四十四年海軍戰技褒賞令制定(射擊、發射、通信、機關)	魚形水雷發射褒賞令制定

昭和三年	彈藥庫員、彈藥供給員 檢定ヲ加ヘシ外前年ニ 同シ	同	同右	飛行機々々上作業檢定ヲ飛行機搭乗者檢 定ト改稱ス
昭和四年	操法、給彈藥、照射、 測距、發射、敷設、掃海、 投射、通信、航空機關、	同	同右	一、檢定呼稱ノ改定アリ 二、航空檢定ヲ分ケテ飛行檢定及整備 檢定ノ二トス

昭和四年度賞品ノ種類及授賞區分中水雷術關係事項ヲ示セバ次ノ如シ(昭和四年内令第四百四十九號)

一、賞品ノ種類

- 第一種賞 第一種銀洋盃
- 第二種賞 第二種銀洋盃
- 第三種賞 第三種銀洋盃

二、授賞區分

- (一) 賞種區分
 - 別表第一ノ通
- (二) 授賞標準
 - 別表第二ノ通

別表第一

賞 種 區 分

一、海軍檢定褒賞令施行規則第二條ニ對スルモノ

(一) 發射檢定

(二) 敷設検定

備考	賞種	配		
		置		機
魚雷員ノ番號ハ席次ノ順序ニ發射機員ノ番號ニ準ズ	第一種賞	手	射	發射機員 (魚雷員)
		潜水艦發射機	軍艦、驅逐艦、飛行機、五十三種以上ノ發射機	
	第二種賞	(長) (一) ニ在ルモノヲ含ム	縱舵機調	機
第三種賞	第三種賞	(二)以下	(二)以下	(四)以下

(一) 掃海検定

備考	賞種	配		
		置		機
大掃海具二號、同四號ヲ同三號ト共ニ裝備スル艦艇ニアリテハ大掃海具三號ノ配置ニ就キ授賞ス	大掃海具二號	第一種賞	第二種賞	(四)以下
		第三種賞	第三種賞	
	大掃海具三號	第一種賞	第二種賞	第三種賞

(四) 投射檢定

配	置	(長)	(一)	(二)	(三)
賞	種	第一種賞	第二種賞	第三種賞	賞

二、海軍檢定褒賞令施行規則第三條ニ對スルモノ

(三) 發射

發射幹部員、測的部員	水雷砲臺	下士官	賞
	兵	下士官ノ酬 兵ニシテ下士官ノ酬 置ニ在ルモノヲ含ム	第一種賞
			第二種賞
			種

別紙第二

授賞標準

一、海軍檢定褒賞令施行規則第二條ニ對スルモノ

(二) 發射檢定

配	置	授賞率
	戰闘發射施設ノモノ	戰闘發射不施行ノモノ

事 記	發射機員 (魚雷)		手
	飛行機	軍艦、驅逐艦、潛水艦各種發射管	
二基以上ノ發射機ニ對シ一單位ノ發射機員(魚雷員)ヲ配スルモノニ在リテハ單位數ヲ別個ニ計上スルコトナシ	被檢定單位數ノ $\frac{1}{4}$ 以內	被檢定單位數ノ $\frac{1}{3}$ 以內	被檢定單位數ノ $\frac{1}{4}$ 以內
		被檢定單位數ノ $\frac{1}{5}$ 以內	

(一) 敷設檢定

被檢定班數ノ四分ノ一以內

(二) 掃海檢定

被檢定班數ノ四分ノ一以內

(三) 投射檢定

被檢定班數ノ四分ノ一以內

二、海軍檢定褒賞令施行規則第三條ニ對スルモノ

(一) 發射

水雷砲臺下士官
發射幹部員
測的部員 } 全員以內

備考

第一號各種檢定授賞數ハ基本部(戰隊又ハ所屬毎ニ聯合シテ施行スルモノニ在リテハ戰隊又ハ所屬)毎ニ本標準ニ依リ之ヲ算定シ其ノ單位(班)(員)數奇零以下ニ亘ルモノハ四捨五入トス
但シ被檢定單位(班)(員)數(配置別)二ノ場合ニハ授賞數ヲ一トス

(別紙) 甲

優等成績決定標準比較表(數字ハ點數ヲ示ス)

大正四年魚形水雷檢定發射實施規程第四條ニヨル種別		大正四年		大正三年	大正二年	大正元年	明治 三十四年	明治 三十五年	明治 三十六年	明治 三十七年
一、水中發射管ニテ四式魚雷ヲ發射スル軍艦	甲額	八五以上		甲 六以上	七〇	七〇	六〇	八〇	九〇	八〇
	乙額	七五以上								
二、水中發射管ニテ四式魚雷ヲ發射スル軍艦	甲額	八五以上		乙 壹以上	七〇	七〇	六〇	八〇	九〇	八〇
	乙額	七五以上								
三、水上發射管ニテ四式魚雷ヲ發射スル軍艦	甲額	九五以上		九五以上	七〇	七〇	六〇	八〇	九〇	八〇
	乙額	八五以上								
四、右以前ノ軍艦及一、二等驅逐艦	甲額	九五以上		九五以上	七〇	七〇	六〇	八〇	九〇	八〇
	乙額	八五以上								

縦舵機ヲ使用セザルモノハ(八〇)

(別紙) 乙

大正四年度魚形水雷檢定發射賞與金額表

七、潜水艇	五、三等驅逐艦及一等水雷艇		六、二等水雷艇	
	甲額	乙額		
一〇〇	第一隊艦	一〇〇以上	一〇〇	
	第二隊艦	一〇〇以上	一〇〇	
一〇〇	第一隊艦	九七五以上	九二	
	第二隊艦	九二	九〇	
一〇〇	九二	九〇		
九〇	九五	八〇		
八〇	八〇	九〇		
八〇	九〇	一〇〇		
一〇〇	九〇	九五		

大正四年度檢定發射規程ニヨル種別		賞區分		賞額	區分
甲額	乙額	甲額	乙額		
一、水中發射管ニテ四式魚雷ヲ發射スル軍艦		拾八圓	拾參圓	拾圓	首席空氣壓搾機員
二、水中發射管ニテ四式魚雷ヲ發射スル軍艦		拾六圓	拾貳圓	九圓	二番以下補助手
三、水上發射管ニテ四式魚雷ヲ發射スル軍艦		拾五圓	拾貳圓	七圓	
		拾壹圓	拾圓	六圓	
		六圓	四圓	五圓	
		八圓	七圓	六圓	
		九圓	八圓	八圓	
		拾圓	九圓	七圓	
		拾壹圓	拾圓	六圓	
		拾貳圓	拾壹圓	五圓	
		拾參圓	拾貳圓	四圓	
		拾肆圓	拾參圓	三圓	
		拾伍圓	拾肆圓	二圓	
		拾陸圓	拾伍圓	一圓	
		拾柒圓	拾陸圓	〇圓	

參考表

檢定發射成績對優等者數一覽表
(中央ニテ關係規程ノ一切ヲ統制掌握セシ期間)

艦				軍				艦種		
年次	發射數	命中數	平均得點	優等者數	年次	發射數	命中數	平均得點	優等者數	總賞與額(圓)
明治四十一年	二〇四	一二二	五一、三	一九	明治四十一年	二〇四	一二二	五一、三	一九	
四十二年	二一一	一九二	八三、二	四五	四十二年	二一一	一九二	八三、二	四五	
四十三年	一四三	一一九	六五、八	二七	四十三年	一四三	一一九	六五、八	二七	
四十四年	一九一	一〇三	四三、三	二〇	四十四年	一九一	一〇三	四三、三	二〇	
大正元年	一五一	七〇	四二、七	二一	大正元年	一五一	七〇	四二、七	二一	
二年	一五六	七四	四二、八	一九	二年	一五六	七四	四二、八	一九	
三年	一三〇	六九	四五、四	一七	三年	一三〇	六九	四五、四	一七	
四年	一五七	六二	二六、一	九	四年	一五七	六二	二六、一	九	
明治四十一年	一七四	一五五	八二、七	二四	明治四十一年	一七四	一五五	八二、七	二四	
四十二年	一七五	一六二	八〇、三	二二	四十二年	一七五	一六二	八〇、三	二二	
四十三年	一三七	一二九	八一、四	二六	四十三年	一三七	一二九	八一、四	二六	
四十四年	二七三	二三五	七六、六	五三	四十四年	二七三	二三五	七六、六	五三	

潜			艇 雷 水						艦					
大正元年	四十四年	明治四十四年	四年	三年	二年	大正元年	四十四年	四十三年	四十二年	明治四十一年	四年	三年	二年	大正元年
一二	一七	二四	一〇五	一三一	一六七	二九二	四五九	四四九	四五三	四七七	一二三	二、三、等 一三一 一四六	一五六	一五四
一二	一五	一五	八七	一一六	一四四	二六六	三七八	四〇九	三九八	三三七	九一	一〇一 一四	一三三	一三〇
九〇、〇	七四、二	五七、四	六九、六	八二、一	八一、一	八四、九	七二、六	七七、七	八二、三	六三、五	五九、五	七八、二 七一、〇	七六、六	七四、〇
四	二	四	一一	一三	三四	七六	七六	八三	六三	五二	二三	二六、一	二八	三一

(別紙) 丙

一、大正七年創始セラレタル機雷敷設檢査配當表ヲ示セバ次ノ如シ
 機雷敷設及掃海檢定褒賞配當及賞品區分

計 合							艇 水			
四 年	三 年	二 年	大 正 元 年	四 十 四 年	四 十 三 年	四 十 二 年	明 治 四 十 一 年	四 年	三 年	二 年
四一一	四二九	四九一	六四八	九九四	八〇六	八八四	八五五	二九	一八	一二
二六七	三一八	三六二	五〇八	七七四	七一五	七九〇	六一四	二七	一七	一一
五一〇	六七七	七〇九	七三〇	六九六	七五八	八一三	六六七	八二二	八八九	八二九
四八	五九	八四	一四三	一五九	一四九	一三九	九五	五	二	三
一九七六	二二一一	三一七二	四八三七	三七八七	三五四六	三二九八	二二八六			

實施部隊種類	受	賞	裝	備	員	組	數								
	橫	鎮	吳	鎮	佐	鎮	舞	鎮	旅	要	大	要	馬	要	鎮

防備隊	二	二	二	二	二	二	二	二
敷設艦船	三							

大正七年度機雷敷設檢定賞品區分表

配員別	賞品區分
裝備員(長)	第一種賞品
同(一番)	第二種賞品
同(二番)	第三種賞品
同(三番、四番)	第四種賞品

二、大正八年創始ノ掃海檢定ニ對スルモノ左ノ如シ

大正八年度掃海檢定褒賞配當表

實施部隊ノ種類	受賞掃海員組數						
	横鎮	吳鎮	佐鎮	舞鎮	旅要	大要	馬要
防備隊	一	一	一	一	一	一	一
驅逐隊	一			一		○	一

備考 驅逐隊ノ所屬ハ掃海檢定實施當時ノモノニ據ル

大正八年度掃海檢定賞品區分表

賞額賞品等ノ異動變遷ニ就テハ發射檢定ニ同ジキヲ以テ特ニ贅セス
 三、大正十五年度ニ於ケル賞品ノ種類及賞種區分等ヲ示セバ次ノ如シ

一、賞品ノ種類

發射檢定ノモノニ同ジ

二、賞種區分

(→) 敷 設 檢 定

(七)	(四)	(一)	長	配 置 員	賞 品
(八)	(五)	(二)			
(九)	(六)	(三)			
第 四 種 賞	第 三 種 賞	第 二 種 賞	第 一 種 賞		

裝 備 員				配 置	賞 種
(七)	(四)	(一)	(長)		
(八)	(五)	(二)	(→)		
第 三 種		第 二 種	第 一 種		



